

国指定史跡・瀬戸内の海に浮かぶ名城



【陸海を司る名城】
A Great Castle controlled both land and sea
浮城「三原城」
Floating Miharu Castle (Ukiziburo Miharujo)

瀬戸内の海霧に浮かぶ幽玄な三原城



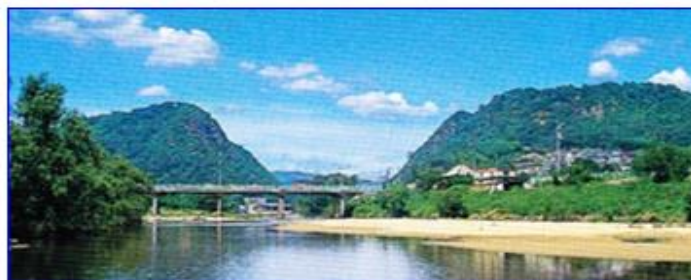
優美な天守台・(大阪城の天守台よりも広い)



満潮時・海の中に浮かんでいた舟入槽跡



名城の誉れ高い
国指定史跡・新高山城跡と高山城跡



小早川氏の血脈を継いだ最後の当主・繁平が盲目となると、その相続に毛利元就の三男・隆景が1550(天文19)年、18歳の時、沼田小早川の家督を継承し、高山城(写真右側)に入城した。

5代雅平の時代から高山城と沼田川を隔てた対岸(写真左側)に砦を築いて副盟としていたとみられるが、隆景が本家を継いで間もない、1552(天文21)年6月、ここの砦に本格的な修築を進め高山城からこの新高山城に本拠を移した。

新高山城跡は標高197.6m。城の縄張りは、東西400mで本丸、中の丸、北の丸、釣井の段、鐘の段、番所跡など中世から近世への移行期の特徴を保っているといわれる。殊の外、詰の丸から東方を眺めると、三原湾から上ってくる船の確認が一望できる位置にある。日本三大山城(美濃の岐阜城跡、越後の春日山城跡)の一つとして名高い。

隆景は、1567(永禄10)年頃から三原城を前進基地として重んずるようになり、後に移封によって伊予の道後・湯築城、筑前の名島城と居城を移すが、この間も、新高山城を小早川氏の本拠として確保した。

しかし、1596(慶長1)年、三原を隠居所と定め、三原城を修造するために新高山城の石垣を三原に運んでいる。まさに、この新高山城は隆景一代・45年間の居城であった。



戦国時代の智将

小早川隆景

KOBAYAKAWA-TAKAKAGE



絹本着色；小早川隆景像

(国重要文化財・米山寺所蔵)

毛利元就の三男として生まれ、後に小早川氏の17代当主となり、三原城を築城。豊臣政権下で、四国平定、九州平定などで功績をあげ、五大老の一人に任じられた。五大老は、隆景の他に、毛利輝元、徳川家康、前田利家、宇喜多秀家らが名を連ねている。

三原市 本郷町観光協会
平成27年2月発行



ガイド案内連絡先
三原市本郷南5丁目26-11
Tel. 0848-86-5717
9時～12時・平日



小早川隆景 生涯65年の人生綴り

参考文献：歴史街道・2014/5月号

和暦	西暦	年齢	綴り	その他・出来事
天文2	1533	1	吉田郡山城で毛利元就の三男として生まれる。幼名・龍尊丸	○1539(天文8)年 大内氏、高山城占拠
10	1541	9	竹原小早川家の当主・興景が病没。隆景擁立の声が上がる	○1543(天文12)年 ポルトガル人、種子島に 漂着。鉄砲伝来
13	1544	12	竹原小早川家の家督を継承	
14	1545	13	母・妙景、死去	
15	1546	14	父・元就、隠居。毛利家の家督は長兄・隆元が継承	
16	1547	15	備後龍王山で尼子方の山名理興等と戦い、初陣を果す この年、長兄・元孝が吉川家の家督を継承	○1549(天文18)年 ザビエル、キリシタンを伝 える
19	1550	18	沼田小早川家の家督を継承する	
20	1551	19	高山城に入城	
21	1552	20	新高山城を築城	
22	1553	21	隆元の嫡男・輝元、誕生	
23	1554	22	11月、陶晴賢と通じる備後の「宇賀崎」を攻略	
弘治1	1555	23	10月1日、能島合戦。毛利軍、陶軍に勝利。陶晴賢を自刃に追い込む	○1560(永禄3)年 桶狭間の戦い
3	1557	25	4月、大内義隆を攻撃。義隆を自刃に追い込み、大内氏滅亡 11月、元就より三木の矢の教訓状を受ける	●1561(永禄4)年 毛利元就・隆元父子 新高山城に隆景を訪問
永禄4	1561	29	元就と隆元を新高山に招き、歎侍	
5	1562	30	隆元、備中・備後の守護に任せられる	
6	1563	31	隆元、死去(享年41才)。輝元が毛利家の家督を継承	
9	1566	34	尼子方の本拠・月山富田城を陥とす	
11	1568	36	元孝とともに九州出陣。以後、大友家と抗争を繰り返す	●1567(永禄10)年 隆景三原城を築く
元龜1	1570	38	津田信長より善状を受ける。以後、津田家との交渉の窓口となる	○1570(元龜1)年 石山寺合戦始まる
2	1571	39	6月、元就、吉田郡山城で死去(享年75歳) 12月、安国寺尊皇、津田信長に拝謁。信長、隆景に馬を贈る	○1573(天正1)年 室町幕府滅亡
天正2	1574	42	浦上宗景、津田信長の後援を受けて毛利氏と戦う。毛利と津田 の戦いが始まる	
4	1576	44	毛利水軍、木津川河口で津田軍を撃破し、石山本願寺に兵糧 を入れる(第1次木津川合戦)	○1576(天正4)年 信長、安土城を築く
6	1578	46	7月、尼子方が拠る上月城を攻略。尼子勝久、自刃 11月、木津川河口で再び津田軍と激戦、敗北 (第2次木津川合戦)	
10	1582	50	1月、備中高松城主の清水宗治らに呼び、津田方との合戦に際 しての作戦を協議 5月7日、備中高松城、羽柴秀吉軍に包囲される(高松城水攻) 6月2日、本願寺の復。津田信長、横死 6月4日、秀吉と講和。高松城主・清水宗治、切腹 6月6日、本願寺の復の報を受けた吉川元孝ら、秀吉の 追撃を主謀。隆景、これを制止	○1583(天正11)年 羽柴秀吉、大坂城築城
11	1583	51	吉川隆景(広家)と小早川元隆(秀西)を秀吉への人質に出す	○1584(天正12)年 イスパニヤ人來航
12	1584	52	秀吉との講和がほぼ整う	
13	1585	53	秀吉の朝鮮攻め(2月)、四国攻め(5月～8月)に従う 8月、秀吉より、伊予を拝領(備後城35万石) 12月、秀吉より大坂城に招待され、歎侍を受ける	○1585(天正13)年 秀吉、四国平定 開自となる
14	1586	54	7月、秀吉の九州攻めに従う 11月、元孝、豊前小倉の陣中で死去(享年57歳)。 広家が吉川家の家督を継承	○1586(天正14)年 秀吉、豊臣の姓となる ●1587(天正15)年 隆景、筑前へ移封
15	1587	55	秀吉より、筑前・筑後、胆前一部を与えられる(36万石)	○1587(天正15)年 隆景、筑前へ移封
16	1588	56	筑前名島城の築城を開始	
18	1590	58	秀吉の北条攻めの際、濱州城在番を務める	
文禄1	1592	60	秀吉の命を受けて、朝鮮へ出陣(文禄の役)	○1591(天正19)年 毛利、広島城完成
2	1593	61	1月、豊前城の戦い、明・朝鮮軍の大軍を破る	●1593(文禄2)年 秀秋三原城で陣亡
3	1594	62	秀吉の弟・秀俊(秀秋)を養子に迎え、嫡男とする	●1597(慶長2)年 隆景没。隆景は 毛利氏重祿となる
4	1595	63	8月、従三位叙せられ、備中納言に任せられる(五大老)	
慶長2	1597	65	11月、秀秋に家督を継ぎ、隠居所の備後三原城に入る 三原城内で死去、米山寺に葬られる	

天下の豊臣秀吉が「天下の蓋(ふた)とするにもなお余りある」と激賞し、「彼奴(あやつ)の注進のみを信用する」と絶大な信頼を寄せたという

「小早川隆景」の人物像を探ってみる。

- 毛利家の盾に徹した智将**
秀吉や軍師黒田官兵衛も認める智将でありながら、隆景は父親譲りの能力で天下を狙おうとはしなかった。
「我が才智は、毛利家のためにこそ用いる」
- 初陣は1547(天文16)年、15歳の時**
12歳で竹原小早川の家督を継承した隆景は、尼子方と通じる備後神辺城主・山名理興との戦いで初陣を果たした。この時、隆景は要害で知られる神辺城の支城・龍王山城を猛攻の末に陥とし、気丈な采配を諸将に称賛された。18歳で本家の沼田小早川家を相続し、両小早川家を統一した。
- 若き日の隆景を語るうえで欠かせないのが1555(弘治1)年、厳島合戦**
戦国三大奇襲戦の一つにも数えられる厳島合戦は、能島、来島、因島の三島村上水軍を見方につけたことが大きな勝因となった。隆景は誰より重要性を悟り「お膳立て」をしたのが隆景だった。
- 備中高松城、1582(天正10)年、水攻めで城主・清水宗治自刃受入**
「すまぬ・・・されどこれで毛利はすくわれたる」
- 秀吉の策略、甥・秀秋を養子に入れようとの企みに、1594(文禄3)年**
「秀秋さまをお迎えしたく毛利を守るために」
*秀秋を養子として迎えた隆景は、翌年豊臣政権の五大老に列せられるのだがやがて隠居し1597(慶長2)年に急逝した。

宗光寺山門



【国重要文化財】桃山時代の建築様式。山門は新高山城の本門を移築したと伝えられる。福島正之・後野忠興の墓(市史跡)がある。

小早川隆景が三原へ移した寺院

寺名	宗派	本尊	所在	由来
①宗光寺	曹洞宗	釈迦牟尼如来	本町	天正5年(1577)新高山城内に隆景が創建。天正10年(1582)現在地に移る
②香積寺	曹洞宗	釈迦牟尼如来	本町	明應3年(1494)萬良村に小早川興平が創建。文禄2年(1592)現在地に移る
③極楽寺	浄土宗	阿彌陀如来	東町	寛文3年(1663)舟木村に創建。天正10年(1582)現在地に移る
④成就寺	臨濟宗	千手観世音菩薩	本町	高山城下あり。天正19年(1591)現在地に移る
⑤順勝寺	浄土真宗	阿彌陀如来	西町	天明年中(1469)高山城下に創建。永禄7年に現在地に移る
⑥法常寺	曹洞宗	阿彌陀如来	四宮町	正嘉2年(1258)新庄村に創建。天正20年(1592)現在地に移る
⑦大善寺	浄土宗	阿彌陀如来	西町	高山城山麓にあり。天正8年(1580)現在地に移る
⑧吉徳寺	日蓮宗	題目菩薩	西町	高山城下にあり。長禄元年(1457)創建。天正元年(1573)現在地に移る

本郷町観光協会インフォメーション



①音声説明機設置のお知らせ
新高山城跡頂上・標高197.6m。
話の丸から、本郷町を俯瞰、一望。
2チャンネルで、対岸の高山城跡と新高山城跡の説明をしています。
ご自由にお楽しみ下さい。

②本郷町のキャラクター
【隆景くん】

